

癒着胎盤と microRNA の相関関係の検討

1. 研究の対象

1992年1月1日から学校長承認日までに当院で前置胎盤の診断で帝王切開術を行った患者さんが対象となります。

2. 研究目的・方法・期間

癒着胎盤は胎盤が子宮筋層に強固に癒着し剥がれない状態のことであり、主要なリスク因子の一つとして前置胎盤があり、帝王切開の既往歴を有する場合には回数が多いほどリスクが増加すると指摘されています。癒着胎盤は分娩時の出血多量となることがあり、妊産婦死亡の原因となるとされています。癒着胎盤の診断は超音波検査やMRI検査で予測しますが、正確に診断することは難しいとされています。

以前の研究で、前置胎盤でかつ癒着胎盤の患者さんについて、癒着胎盤と関連するタンパク質（EMT、MMP-2 因子）と関係する可能性が指摘されました。これらは micro RNA(以下 miRNA)という遺伝子の発現制御を担っており、細胞の増殖や細胞死にかかわる因子ですが、癒着胎盤と関連するタンパク質に関連する miRNA が癒着胎盤とどのように関係しているのかはわかりません。

今回、癒着胎盤とどのように miRNA が関係しているのかを検証します。研究期間は2027年(令和9年)12月31日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

既に摘出・作成された病理組織および診療目的で採取した血液検体の残血清を研究に用います。また診療録（カルテ）から治療内容、病理組織学的診断、その他日常診療で得られた年齢や身長・体重などの臨床データ及び血液検査データ等を採取し解析する予定です。使用する試料・情報については、すべて匿名化し、個人が特定できないようにしてから利用します。

4. 研究に用いる試料・情報の管理についての責任者

個人情報管理補助者

産科婦人科学講座 准教授 笹 秀典

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先かつ研究責任者：

防衛医科大学病院 産科婦人科 講師 宮本 守員

住所 〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

TEL：04-2995-1211（代表）内線：2363